

KAWASAKI STEEL GIHO

Vol.10 (1978) No.2.3

Basic Plan over Construction of West Plant at Chiba Works

(Ryoji Kurotsu)

(Takeo Mihira)

(Teppei Matsunaga)

:

(2)

(3)

(4)

, 1)

(5)

UDC 669.1.013.5

658.2.002.2(669.16/.18+621.7)

千葉製鉄所西工場建設の基本計画

Basic Plan over Construction of West Plant at Chiba Works

黒津亮二*

Ryoji Kurotsu

三平武男**

Takeo Mihira

松永徹平***

Teppei Matsunaga

Synopsis:

Taking it into consideration to modernize and rationalize equipment and production system, to get deep wharfs and to establish a thorough anti-pollution measure at Chiba Works of Kawasaki Steel Corp., it was decided to construct West Plant, represented by No.6 blast furnace and its related equipment, at the newly reclaimed land off the existing Main Plant.

The construction was carried out under the following policies to attain an overall rationalization of the steelworks operation in both new and the old plants.

成し、第6高炉を中心とした新鋭設備を建設する計画がたてられた。その結果、本・西工場併せて

代的“クリーン製鉄所”にすることを狙ったものであり、建設の基本的方針は次の点におかれた。

2. 建設までの経過

千葉製鉄所西工場は昭和44年埋立てを開始した。当時、鉄鋼業界は需要に対して生産能力が不足の状態にあり、この傾向は世界的にもさらに強くなることが予想されていた。

このような社会的背景のもとに、西工場に第6高炉および同関連設備の建設を計画し、昭和45年には千葉県および千葉市と基本的な合意をみるに至った。

両工場間の調和

- (2) 岸壁の大型化
- (3) 徹底した公害防止

第一に、今回西工場に建設された第6高炉および同関連設備は、能力的にも設備的にも新旧設備のレベル差を一段と広げるものとなるだけに、本・西両工場併せての生産コストミニマムをめざして設備能力の面での調和をいかにとるかが計画重要なポイントとなった。

また西工場が本工場と離れた位置に造られたことにより、

この基本思想，基本方針がどう実現されてきた よび同関連施設の建設に関する協定”が，さらに

は具体的な方針について述べる。

(1) ランニングコストの低減

省エネ・省資源（水・砂り）原単位の上昇

害の防止に関する細目協定”および“緑化協定”
が締結された。公害防止に関しては，地域社会と

の取組のよき連携的協議等も進め

省力の徹底的な追求を図った。

(a) 物流コストの最低な設備規模，配置（省エ

ネ・省資源（水・砂り）

対策項目はつぎのとおりである。

(1) 設備の休・廃止と操業度低減

(a) 窒素酸化物・酸素酸化物・ばいじん・騒音・水

大気汚染物質は大幅に減少させることになった。 もに新しい操業のスタートをすることになった。